

平成23年度一般会計当初予算説明資料

4款 衛生費

1項 公衆衛生費

健康政策課（内線：7861）

8目 健康県づくり推進費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)「食のみやこと っとり～食育プラン ～」推進事業	(16,413) 6,201	(0) 0	(16,413) 6,201			(10,212)	(6,201) 6,201	
トータルコスト	25,372千円（前年度0千円）〔正職員：2.4人〕							
主な業務内容	研修会・セミナー開催、連絡調整等							
工程表の政策目標（指標）	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減（平成20年度を基準年として、5年以内に10%減）							

事業内容の説明 ※上段（ ）内の数値は商工労働部の緊急雇用創出事業計上分を含む額

1 事業の目的

全ての県民が健全な心とからだを育み、いきいきとした豊かな暮らしを実感するため、「食のみやことっとり～食育プラン～」を作成し、関係者の連携のもとで食育推進に取り組んでいる。
プランの評価年である平成24年度を目指し、関係者の意見を踏まえて必要な取組を整理し、より一層県内における食育を推進する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区 分	事 業 内 容	予算額
幼児のクッキング 活動指導者育成事 業	【子どものころからの体験活動を重視した食育の推進】 ・各施設でクッキング教室を実施する際の指導プログラムの作成 ・子どもへの食育を実践する指導者を育成するための研修会の開催	2,241
健康食生活応援事 業	【食育プランに掲げる目標（朝食欠食率の減少）の推進】 ・健康的な食生活を実践するためのアイデアを県民から募集 ・アイデア集を作成し、啓発や地域の食育教室等の媒体として活用 ・生鮮食品売場に簡単調理のアイデアを掲示するなど、食品売場での啓発活動を行う	1,908
食育実践セミナー	【連携体制づくりと実践活動の促進】 圏域における食育の実践活動として、「健康を支える食文化」実践チーム(*)が地域の食育活動実践者と連携を図りながら「食育実践セミナー」を開催する。 *「健康を支える食文化」実践チーム ⇒食育プランで示した圏域の食育推進の実施母体	2,052
合 計		6,201

※参考：以下の2事業は緊急雇用基金活用事業

区 分	事 業 内 容	予算額
外食栄養成分表示 拡大事業	県民が健康づくりに取り組みやすい食環境を整備するために、飲食店における栄養成分表示の実施を支援する。	5,455
食育レポート活動 事業	県内における食育活動をとりまとめ、現状分析を行い、取組の改善を図るとともに、活動の情報発信を行う。	4,757
合 計		10,212

3 これまでの取組状況、改善点

20年4月に、食育基本法に基づき「食のみやことっとり～食育プラン～」を作成。
「健康を支える食文化」専門会議などを通じて、関係者との連携を図りながら食育を推進。
22年度は「食のみやことっとり食育フォーラム」を開催し、さらに関係者の意見を踏まえ、食育プランWGで、次のとおり今後の方向性を整理。これに従って事業を展開しようとするもの。

【食育推進のための県の取組の方向性】

- 子どもの頃からの体験活動を重視した食育の推進
- 食育プランに掲げる目標の推進
 - ・朝食欠食率の減
 - ・楽しく食べる子どもの増
 - ・栄養成分表示を実施する飲食店の増
- 関係者の連携体制づくりと実践活動の促進
- 県内の食育活動の評価と情報発信